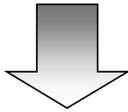


小単元名 p. ～	指導の手引 [単元バージョン]	小単元 の目標	小単元の学習内容を踏まえ、まとめの学習後に児童 が到達している目標が示されています。
--------------	--------------------	------------	---

つかむ

p.
児童が学習内容に疑問や関心を持ち、学習問題を考えたいくなるような導入部分。
下の吹き出しのような言葉が児童から出るように、実態に合わせて工夫を！

※児童の気づきや疑問
【児童の言葉で記述】



※児童の気づきや疑問
【児童の言葉で記述】

学習問題
単元を通して追究し、解決に向かう学習問題。

調べる

p.
○ 学習問題を解決するための体験や調査、△○を調べよう等で記述しています。
.
.
.
※調べる活動の際の留意事項
例 調べる観点、準備物、約束、インタビューのしかた、資料等

p.
○ 体験や調査を振り返り、まとめる活動。△○をまとめよう等で記述しています。
.
.
.
※まとめる活動の留意事項
例 まとめる観点、まとめ方の例等

まとめる

p.
○ 体験や調査をもとに、学習問題を解決するためのまとめの活動。△○を～まとめよう等で記述しています。
※まとめる活動の留意事項



まとめ方（学習のゴールイメージ）や児童の主体的な活動を促す手だて等も記載しています。



○ 教科書と副読本を併用する際のポイントを記述しています。

<p>小単元名 p. 2～7</p>	<p>①学校のまわり</p>	<p>小単元の 目標</p>	<p>学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目させる。観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで学校のまわりの様子を捉える。場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。</p>
------------------------	----------------	--------------------	---

つかむ

p.2
◎学校のまわりの様子

- ・2年生のまちたんけんのときに撮影した学校のまわりの写真を提示し、どんな様子の場所だったかを想起させる。

もっと詳しく知りたいな。
わたしも行ってみたいな！

他にもないかな？
みんなでさがしたいな！

学習問題

学校のまわりの様子は、どのようになっているか調べましょう。

調べる

p.2
◎学校のまわりの様子

- ・生活科の「まちたんけん」で訪れた場所を写真で提示し、その建物のことやまわりの様子を想起させる。

p.3～5
◎学校のまわりの絵地図

◎くわしい地図を見てみると

- ・学校の近くの様子を表した地図を提示し、児童にとって身近な施設などに着目させる。

〈着目させる施設の例〉

- ・幼稚園や郵便局など訪れた場所
- ・道路の様子（幅、交通量など）
- ・家の多いところ、店が多いところなど

まとめ

p.6～7

◎交通の様子や公共しせつなどの、たて物の様子に注目

- ・道路やバス停に着目させ、交通量やバスの行き先に関心を持たせることで、交通の様子について着目させる。（学区によっては駅も含める。）
- ・公共施設については、初めて学習することになる。先生の吹き出しや教科書の「ことば」を活用して丁寧に指導する。

◎学校のまわりを上から見ると

- ・高いところからみた様子と絵地図の様子とを比べて、方位ごとの様子について発表させる。
- ・さらに遠いところの様子を考えさせることにより、次小単元「仙台市のようす」の学習につなげるようにする。



○ 教科書、副読本の両方の事例地を取り上げることで自分たちのまちとの類似点、相違点を見付けることができる。他地域の地図に触れることで、地図の見方、方位や地図記号などの理解を深めることができる。

p. 2, 3	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
---------	------	----------------------	------	----------

【小単元の指導に当たって】

本小単元のねらいは、学校のまわりの様子を調べ、必要な情報を集め、場所による違いを考え、身近な地域の様子を理解することである。教科書会社の指導計画では、指導時数が3時間となっているので、学区の様子を表した地図を用意し、地図から読み取れる情報を中心に学習を進めるなどの工夫が必要である。

本文「学校のまわりの様子」

単元への導入として設定する。生活科の学習を振り返り、学校のまわりにある場所を写真などで提示し、本単元への関心を高める。

本文「学校のまわりの絵地図」

教師が作成した地図を提示し、学校のまわりの様子に関心を向けさせる。



写真

「まちたんけんで見つけた場所」

児童に紹介したい場所を聞き取っておき、教師が事前に写真を撮影しておく。写真を基に「ここはどこだろう?」と、クイズ形式で提示することも考えられる。

先生の吹き出し

地域ごとの特徴に気が付かせるための発問の例。学区の実情に合わせて工夫する。

p. 4, 5	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
---------	------	----------------------	------	----------

本文「くわしい地図を見てみると」

分かりやすい地図にするためには、どのような工夫をすればよいのか、話し合いながら作業を進めさせるとよい。

本文「縮尺」

これを基に計算すると、実際の距離が求められることを押さえる。

「方位磁針」

四方方位について確認する。イラストのように実際に体を使って体感させるとよい。

図「地図記号」

ここでは、地図記号の利便性をつかませたい。地域の実態によっては、学区の地図に使用しない地図記号もあるが、成り立ちなどを示すことで、いろいろな地図記号に対しても関心を持たせたい。

本文「この絵地図からどんなことが分かるか、話し合ってみましょう。」

分かったこと、発見したことなどは、地図のまわりに書くと分かりやすい。探検時に撮影した写真も貼付しておくことさらに分かりやすい。



本文「交通の様子や公共しせつなどの、たて物の様子に注目」

学区内にある身近な施設に着目させる。児童センターや公園など、生活と関わりのあるものを取り上げる。



- * 屋上などの高い所に持って行く物は、地図や方位磁針など最小限にする。
- * 安全面に十分配慮する。

※ 教科書会社の指導計画では、3時間扱いになっている。新学習指導要領の趣旨を理解し、時数に留意して指導する必要がある。



本文「学校のまわりを上から見てみると」

学校の屋上で四方位を概観させ、地図と景色を見比べながら紹介し合う活動を通して、まちの様子の違いを見つける視点に気付かせる。

屋上に上がることができない場合は、近くの高い場所からの概観に変えるとよい。この活動ができない場合は、スライドや写真を用意して学習を進めるなどの工夫をしたい。

次小単元への意欲付け

方位を確かめながら、学校のさらに向こうはどうなっているのか興味を持たせ、次小単元の「仙台市の様子」につなげていくようにする。

<p>小単元名 p.8～17</p>	<p>②仙台市の様子</p>	<p>小単元 の目標</p>	<p>仙台市の様子について、都道府県における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所などの主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べ、まとめたりすることで市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。</p>
------------------------	----------------	--------------------	---

つ
か
む

p.8～9

◎仙台のまちを空から見てみよう

- ・仙台駅を中心に東の方を撮影している写真なので、地図の方位とは異なっていることを押さえる。
- ・航空写真を見て、行ったことのある場所や知っている場所を発表させる。また、気付いたことを発表させながら、仙台市の様子を大まかに捉えさせる。

仙台の中心には高いビルや大きい道路があるね。

写真には写っていない所はどんな様子なのかな？

学習問題

わたしたちが住んでいる仙台市の土地の様子やまちの様子を調べましょう。

調
べ
る

p.10～11

◎市の様子を写真や地図で見よう

- ・市の東西南北の空から撮影した写真
- ・主な川、鉄道、道路
- ・八方位での表し方
- ・インターネットを使って調べる方法

グループに分かれて、土地の様子や使われ方について調べさせる。その際、巻末資料の地図を活用するとよい。

p.12～15

◎市の土地のとくしょくについて考えよう

- ・各グループの発表から、なぜ土地の使われ方が場所によって違うのか考えさせる。
- ※「仙台市の地形」「交通の広がり」「公共施設の場所と広がり」「古くから残る建造物」に着目して考えさせ、仙台市の様子をおおまかに理解できるようにする。

◎市の公共しせつ、仙台市内に残る古い建物

- ・p.15の地図でたて物の位置を確認する。

ま
と
め
る

p.16～17

◎仙台市のガイドマップを作ろう

- ・調べたこと、友達の発表から分かったことを整理して紹介したい内容を選ぶ。
- ・仙台市の白地図を色分けさせ、仙台市の特色を捉えさせる。
- ・これまでの学習をもとに、紹介することを文章で表現させる。
- ・写真やイラストを入れるなど各自の工夫を取り入れる。
- ・仙台市の特色を一言で表すキャッチコピーをつけさせる。
- ・友達と作品の交流を通して、

『仙台市のことをもっと詳しく調べたい。』という意欲を持たせ、次の単元につなげる。

学級の実態に合わせて、個人、グループで作成させる。



○ 教科書 p16～p17には「学習の進め方」が載っている。この単元だけでなく、今後の学習の進め方に生かしたい。各ページには、調べる観点が載っているため、各時間の学習問題の参考にするとよい。

【小単元の指導に当たって】

本小単元のねらいは、学区の学習を基に、仙台市全体の様子に関心を持たせ、生活経験や見学活動などを通して、市全体の様子を捉えさせることである。仙台市の特色ある地形、土地利用、主な公共施設などの場所や働き、交通の様子などを調べ、場所によってそれぞれの特色に違いがあることを考えさせる。

キャラクターの吹き出し

航空写真を見て、行ったことのある場所や知っている場所を発表させる。また、気付いたことや不思議に思ったことなどについて話し合うことを通して、仙台市の学習に対する興味・関心を高めたい。

※学習対象が、学区から仙台市全体に広がったことをしっかりと意識付ける。



写真「航空写真」

仙台駅を中心に、東の方向を撮影している。地図の方位とは異なるので、説明が必要となる。仙台市の中心市街地にある JR 仙台駅や仙台市役所、宮城県庁の位置などを確認させたい。また、青葉通や広瀬通、定禅寺通なども見付けさせたい。

※航空写真は、次ページ以降の学習における、白地図・地形図・土地利用図などと見比べる活動の際にも活用したい。

区名

区の名前を記入させ、自分が住んでいる区に色を塗らせる。自分たちの学校の大まかな位置も記入させ、仙台市の中のどこに位置するのかを確認させたい。

本文「市の様子を写真や地図で見よう」

仙台市の東西南北の上空から撮影した写真であることを説明する。白地図で位置を確認しながら写真と見比べ、仙台市の土地の様子について調べる課題を持たせたい。

資料編の地図「仙台市の様子」や「仙台市の土地と交通の様子」など見比べさせると、課題意識が高まるものと思われる。

※仙台市の土地利用の様子について、調べる課題を作らせるための資料である。主な川、鉄道、道路の位置と写真、吹き出しを関連付けて考えさせたい。



学び方コーナー「じっさいに、たんけんができないときは？」

直接見学することは難しいであろう。その際、ホームページや他校との情報交換、ビデオ視聴や写真などを活用することで調べられることを捉えさせたい。

学び方コーナー「八方位」

八方位を用い地図上の特定の地点を説明させることを通して、八方位の必要性や便利さに気付かせたい。

写真・キャラクターの吹き出し

仙台市の東西南北の土地の様子を表している。吹き出しと地図を見比べながら、特徴を捉えさせたい。

先生の吹き出し

仙台市の土地の高さと土地利用の様子を関連付けて考えさせる。地図記号や川、鉄道、道路の様子にも注目させたい。

※前ページの地図や写真と合わせて学習するとよい。
※土地の高さを色で表し、地図記号も掲載しているので、地図記号の学習にも活用できる。

写真

児童が撮影してきたものを利用してよい。

※児童の実態に応じて、あらかじめ主な道路や川などをかいた白地図を配布して作業を進めることも考えられる。



地図記号

他にもいろいろな記号があることを知らせ、調べさせる。地図記号に慣れさせる。

写真

公共施設とはどのような役割を持つのかを理解させながら、仙台市にある主な公共施設の種類や働きについて調べさせる。その際、多くの公共施設は市役所によって運営していることに触れる。

先生の吹き出し

自分の住む地域にどのような古い建造物（神社、寺院、伝統的な家屋など）や伝統的なまち並みがあるか調べさせる。可能ならば、地域の方々に直接話を聞き、建造物のいわれなどを調べられるとよい。

先生の吹き出し

自分の住む地域、及び仙台市にどのような公共施設があるか発表させ、それぞれの働きについて考えさせたい。



本文

資料編 (p.92・93) には、学習に活用できる公共施設を紹介している。家族で出かけたり、校外学習で利用したりしたことがある児童も多いと思われる。それらの経験から、公共施設の大切さについて考えさせたい。

地図・写真

仙台市に残る主な古い建物を紹介している。地図上で位置を確認したり、インターネットやパンフレットを用いて歴史などを調べたりして、身近な地域や市の様子について捉えさせたい。

本文「仙台市のガイドマップを作ろう」
調べて分かったことや気付いたこと
などを整理し、仙台市のガイドマップを
作らせる。

これまで調べたことのほかに、新たに
興味を持ったり疑問に思ったりしたこ
となどを調べてもよい。

学び方コーナー

「仙台市ではないところに住んで
いる人たちに伝えよう。」という働
き掛けから、意欲付けを図りたい。
自分が調べた地域だけでなく、友達
が調べた地域も取り入れながら、仙
台市全体を紹介させたい。

紹介する観点

これまで学習した交通・地形・土地
の使い方・公共施設・歴史的建物か
ら選択して紹介させる。これまでの
学習もとに、自慢したいことを文章
に表現させる。

写真

児童が撮影した写真を取り入
れてもよい。そのほか、インター
ネットやパンフレットなどの写
真を活用することも考えられる。

キャッチコピー

仙台市の特色を一言で表すキャッ
チコピーを作らせる。交通、自然、歴
史、産業など、ガイドマップで紹介
している内容を組み合わせて考えさ
せる。

イラスト

写真を取り入れることが難しい場合な
ど、簡単なイラストで表現してもよいこ
とを働き掛けたい。児童一人一人が、分か
りやすく楽しいマップにすることができ
るよう、個に応じた工夫を引き出したい。

